



うちのイチ押し！

「大阪の宝」と大阪のミュージアムを楽しむ Webコンテンツ

大阪市の6つの博物館・美術館が2025年大阪・関西万博に合わせて、「大阪博」を開催！

「大阪博」では、大阪で生まれ、引き継がれてきた各館の収蔵品の中から、都市大阪の魅力を体感できる代表品として選定した「大阪の宝」120点をWebサイトで順次公開するほか、2025年には各館で多くの「大阪の宝」を実際に展示します。「大阪博」に関連し、2つのWebサイトをご紹介します。

1

デジタル大阪ミュージアムズ「大阪の宝」



<https://dom.ocm.osaka/treasure>

収集に関わった先人や継承の履歴を通じて、それらを育んできた都市大阪の魅力を体感できるような各館の代表品20点ずつ合計120点の「大阪の宝」を公開していきます。Webサイトでは、「大阪の宝」を育んできた都市大阪の魅力を「大阪の力（チカラ）」と表現し、「大阪の宝」の来歴や作品等が持つストーリーとともに紹介しています。



2

「大阪博」



<https://osakahaku.ocm.osaka/>

このWebサイトでは、2025年度に向けて、「大阪の宝」のうち実際に展示される作品の、展示場所や期間などの詳細情報を随時発信していきます。他にも、6つの博物館・美術館の展覧会情報や、カフェなど各館の周辺情報も一緒に紹介する「おさんぽミュージアム」、著名人インタビューなども掲載しています。博物館・美術館巡りを楽しむお供として、Webサイト「大阪博」をどうぞご利用ください。



大阪博を開催する6つの博物館・美術館

大阪市立美術館、大阪市立自然史博物館、大阪市立東洋陶磁美術館、大阪市立科学館、大阪歴史博物館、大阪中之島美術館

住所 〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-32 大阪歴史博物館内 地方独立行政法人大阪市博物館機構 経営企画課 電話 6940-0569



おおさか

歴史
探訪

196

大阪の史跡や歴史資料を毎月連続でご紹介します。

弥生時代～現代の米作りを紹介！瓜破会館の常設展示

平野区にある大阪市瓜破土地改良区 瓜破会館の1階には、会館周辺の瓜破遺跡で見つかったたくさんの土器や石器などが展示されています。

瓜破遺跡は旧石器時代～中世に至る複合遺跡で、瓜破霊園や大和川の河床から弥生土器などが発見されたことにより、戦前からその存在が知られていました。1980年代以降、阪神高速道路や土地区画整理の工事にともない発掘調査が行われ、弥生時代の集落や墓、水田の跡などが見つかっています。

瓜破会館の周辺は現在でも水稻耕作が行われている大阪市内の貴重な田園地帯です。瓜破会館の展示コーナーは「米作りの移り変わり」をテーマに昭和63(1988)年4月1日にオープンしました。会館では瓜破遺跡から出土した弥生時代の土器や石器、古墳時代以降の土師器や須恵器、また遺跡の写真などとともに、復元された弥生時代のクワ・スキなどの農具、さらには千歯こきや唐箕といった機械化するまで使われていた近代の農機具なども見ることができます。

このたび常設展のパネルをリニューアルしました。近くにお越しの際や歴史散策の際はぜひお立ち寄りください。



瓜破会館の展示コーナー

瓜破会館：平野区瓜破東6丁目1-51 アクセス：OsakaMetro谷町線「喜連瓜破駅」徒歩15分

利用時間：午前9時～午後5時 休館日：火・日・祝・年末年始・お盆期間 見学科：無料

(大阪市教育委員会事務局 文化財保護課)